

たいわ 町議会だより



みどりを繋ぐ 未来が芽吹く



大和町議会

元気なくらしが 広がる大和町へ

主要事業への町民の声 を聞きました！

土木 下草大橋ついに開通



【橋梁上部工架設工事(下草大橋)】

鶴巢下草地区と落合舞野地区を結ぶ下草大橋の架設工事を実施した。開通したことでインターチェンジや大和流通工業団地へのアクセス向上に寄与した。

開通に伴い、富谷市や泉区へのアクセスがとて
良くなりました。

その反面、朝夕の交通量が増え、速度超過の車も
見受けられるので、ゆっくり走ってもらいたいの
が地域住民の願いです。

(落合地区舞野上 すがわら 管原 としお 敏男さん)



教育 英検、漢検などの受験料を補助



【各種検定料助成事業】

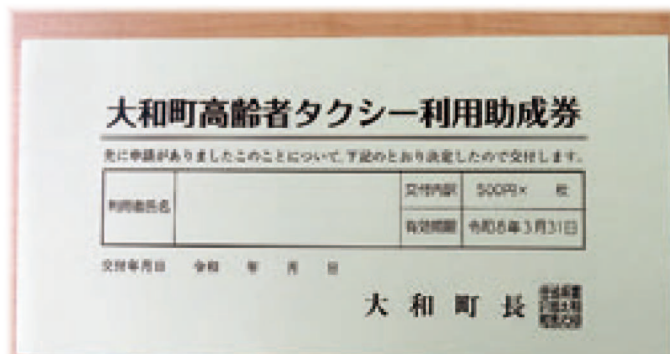
中学生を対象に各種検定(英検、数検、漢検)の検定料助成を行った。

私は去年、この制度を利用して、英検を受けました。この制度は、英検や数検などを受けてみたいと思う人にとって、とても活用しやすいものです。英検や数検に挑戦してみたいという意思を持っている皆さんは、ぜひ活用することをお勧めします!!



(大和中学校3年 奥田 隼世 君)

福祉 高齢者のお出かけをもっと気軽に



【高齢者外出支援事業費】

町内指定タクシー利用助成券(18,000円)などを高齢者に交付し、外出機会の促進を図った。

私は足が悪いので、外出の際は家族の車に乗せてもらっていますが、家族の都合が合わないときに利用させてもらっています。月に一度、吉岡の病院に薬をもらいに行くので、とても助かっています。制度のお知らせや、最初の手続きがもっと分かりやすいと助かります。



(鶴巣地区山田 門間 イツ子 さん)

観光 星空サブローPARKにトイレ新設



【観光施設整備】

南川ダム周辺のオートキャンプ場「星空サブローPARK」にトイレを新設した。

トイレが使いやすくなって良かったです!

自然に馴染むデザインを意識していただけたら更に良いのではと思うのと、炊事場があると沢山の人の来てもらえるんじゃないかと思っています。



(宮床地区杜の丘 猪股 春菜 さん、桜菜 ちゃん)

令和6年度一般会計決算

令和6年度一般会計決算の歳出(使ったお金)を 町民1人あたりにすると…

商工費 1万1,434円

観光施設の整備やお祭り、企業立地の推進への奨励金など

土木費 6万8,788円

道路や河川、公園、町営住宅の整備・維持管理など

消防費 1万8,326円

防災、消防団など

教育費 5万2,150円

小中学校、まほろばホールの施設維持管理など

公債費 2万1,725円

地方債(借金)の返済



1人あたり
59万9,135円

議会費 4,978円

議会の運営

総務費 8万121円

集会施設の維持管理、町民バス運営、交通安全や子育て支援住宅など

民生費 16万8,134円

保育園運営、児童手当、敬老会や障がい者福祉など

衛生費 5万3,416円

基本検診、がん検診、予防接種、ごみ処理など

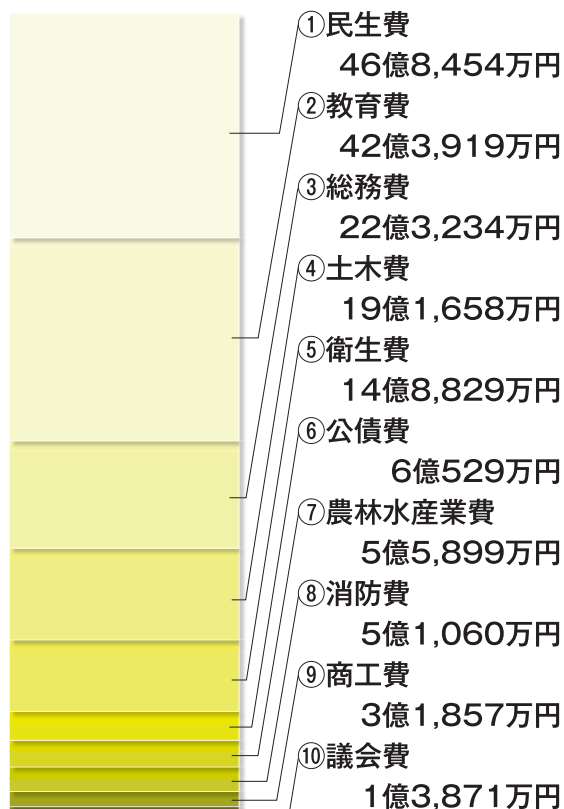
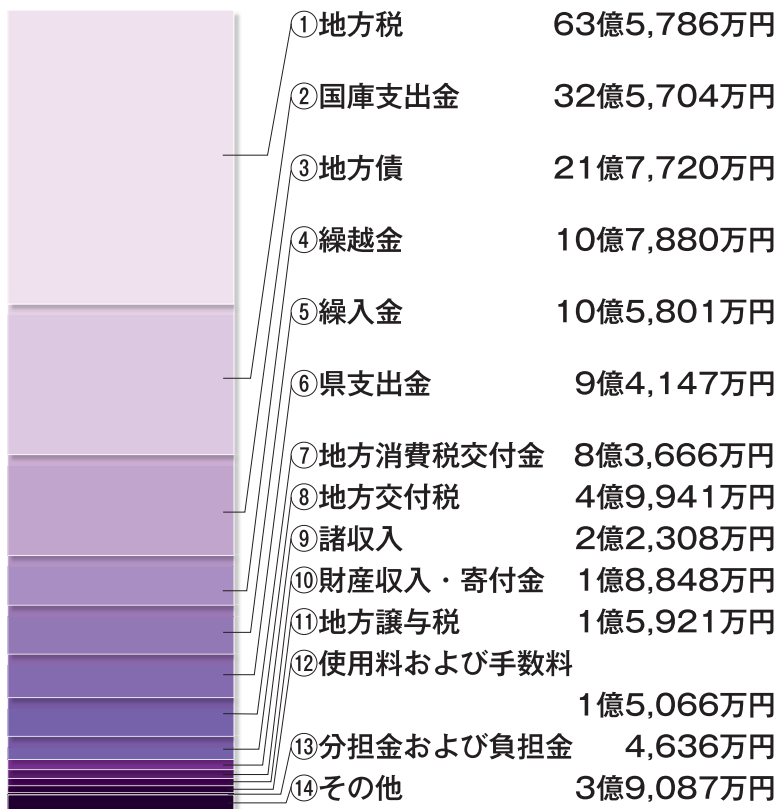
農林水産業費 2万63円

農業経営支援、農業環境整備、林業関係など

※令和7年3月31日現在 2万7,862人で試算

歳入 173億6,511万円

歳出 166億9,310万円





審査進行を務める 堀籠 日出子委員長

令和6年度 決算審査

各課の決算を細かく審査するため、決算特別委員会を設置し、5日間にわたり審査をしました。

決算審査における執行部への主な質問内容

●都市建設課

- ・歩道の除雪を増やす考えは
- ・公営住宅の今後について
- ・河川愛護団体の今後の見通しは

●農林振興課

- ・伊達いわなスタンプラリーの効果は
- ・有害鳥獣の被害額は
- ・畜産業への支援をどう考えるか

●商工観光課・企業誘致推進室

- ・企業誘致の後は
- ・オープンファクトリーからの教育分野への発展をどう考えるか
- ・南川ダムバンガローの展望は※



※ダム周辺の利活用を模索中

●上下水道課

- ・料金改定の見通しは
- ・下水道老朽化への対応は
- ・上下水道フェアや出前講座を実施しての効果・影響は※



※子どもたちに水の役割と大切さを伝えることが目的

●町民生活課

- ・マイナンバー推進事業の最終的な目標値はどれほどか
- ・嘉太神周辺に設置した防犯カメラの成果は

●福祉課

- ・生活支援コーディネーターの役割は
- ・高齢者外出支援事業の周知方法について

●健康推進課

- ・子宮頸がん検診の啓蒙活動を
- ・引きこもり居場所支援事業予算増加の背景は

●子ども家庭課

- ・保育士の待遇について
- ・所管施設のエアコン設置状況は※



※所管施設には全て設置済
(もみじヶ丘児童館ホール)

●教育総務課

- ・学習支援員の増員により学習環境は改善されているか
- ・学校図書館の環境整備について
- ・教育基本方針の目標達成度合いは

●生涯学習課・公民館

- ・文化財保護について
- ・レクリエーション広場の管理運営は
- ・公民館所管講座について

●総務課・危機対策室

- ・選挙投票率向上の手立ては
- ・職員の健康管理について
- ・消防施設の管理運営は
- ・防災放送、避難所Wi-Fiなど、緊急時の設備状況は

●財政課

- ・町内所管施設の管理状況は
- ・経常収支比率をどうとらえているか
- ・総合評価落札方式について

●まちづくり政策課

- ・ふるさと寄附、企業版ふるさと寄附について
- ・まちづくり活動推進会認定団体について
- ・デマンドタクシー利用者を増加させる案はあるか※



※活き生きサロンなどでPRを

●税務課・徴収対策室

- ・町税収入未済額改善の背景は
- ・職員数の配置は適切か

●会計課

- ・支払いのキャッシュレス化を

●議会事務局

- ・議場の景観の向上を

予算執行は適正か？

町長・教育長に問う

決算特別委員会で出された主な質疑を常任委員会ごとに

町長及び教育長に再質問した。

総務課、まちづくり政策課、
危機対策室に問う

総務常任委員会

代表

みやざわ

みつやす

委員

本町の婚活事業の
未来は

問 本町では縁結び応援団と婚活バスツアーを行っている。町として期待した効果があつたか伺う

答 平成28年度から継続実施し7組の成婚を確認している。出

会いの場の提供は人口減少緩和や定住促進、移住・Uターン誘導に効果がある。地域資源活用で経済効果や交流促進も期待できるが、成果は見えにくい。将来投資として改善を重ね継続していく考えである。

地域公共交通の未来は

問 デマンドタクシーの利用者からは利便性が良くないとの声があるが、適した地域公共交通の在り方と考えるか。

答 デマンドタクシーは令和6年度利用

9,056人、費用32,620千円で回収率3.6%。主に高齢者が病院・商業施設に利用している。予約は前日または1時間前のみである。町地域公共交通会議や町内タクシー会社などと利便性向上や改善に向けて協議を行っている。

地域の未来を守る消防団

問 消防団費の令和6年度決算では備品の配備が少ないように見える。

現在の装備品も老朽化しており、消防団の活動が円滑に進むと考えるか。

答 装備は服・靴・ヘルメット、小型ポンプなど初期消火に必要なものは配備済だが万全な状態ではない部分もある。町と消防団幹部が情報共有し装備充実を計画的に進め「地域に信頼され、時代に適応し、持続可能な消防団」をめざしていく。



婚活事業は改善しつつ継続

福祉課、教育総務課、生涯学習課に問う

社会文教常任委員会

代表

いぬかい

かつこ

委員

生活支援体制整備事業
について

問 令和6年度決算では生活支援体制整備事業に733万4千円が社会福祉協議会に委託されている。委託費の内訳と生活支援コーナーディネーターの活動内容は。

答 本事業は高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう平成29年度から開始し、社会福祉協議会内に専従コーナーディネーター1名を配置している。活動内容はサービス開発、生活支援の担い手養成、地域の支え合いづくりの構築など幅広く、令和6年度は合計733万4千円の事業費で、約400回地域に出向いて支援を行っている。今後も地域の支え合いを広げていきたいと考えている。

小中学校における図書室の蔵書整理について

問 町内各小中学校の図書室の蔵書充足率は100パーセントに近い数値である。令和6年度において入れ替えによる蔵書整理はどのようにされているか。

答 学校図書館の充足率は小中ともに高い水準を保っており、令和6年度も895冊を購入し、傷みのある本との入れ替えなどを進めている。充足率が100%を超えたため廃棄の必要も出てきており、全国学校図書館協議会の基準を踏まえて適切に対応していきたいと考えている。また、廃棄図書の一部は児童生徒への配布や児童館などでの再利用のほか、町民への配布などについても公民館と連携しながら検討していく。

文化財の管理について

問 令和6年度に各地区教育ふれあいセンターに保管をしている文化財の整理はどのように行われたか。

答 町が保管する文化財は各地区の教育ふれあいセンターで展示・収蔵しており、地域の歴史を伝える貴重な財産と考えている。令和6年度は引き続き整理や清掃を行い、見学時には展示の一部入替えやまほろばホールでの企画展示も実施してきた。常時公開は行っていないが、学校教育や地域行事と連携しながら公開の機会を設けている。今後も保存管理に努めつつ、多くの方々に関心を持っていただけるよう工夫を重ねていきたいと考えている。

基準を踏まえて適切に対応
(大和中学校図書室)

都市建設課、農林振興課、企業立地推進室に問う

産業建設常任委員会

代表 槻田 雅之 委員長
つきた まさゆき

町営住宅の今後は

問 年々中層耐火住宅の空き部屋が目立つように感じているが、新規入居に向けた広報を含めた対策と入居しない理由はどのようにとらえているか。

答 本町の町営住宅は7棟140戸を整備してきたが、令和2年度以降は退去増で空室が目立つ状況となっている。広報紙やHPで募集を行ってきたが十分な改善には至らず、SNSやテレビ回覧板でも周知を始めたところである。

なお、年間での入居者数は退去される数を下回っているが、毎年数世帯の入居はある。退去理由は新居取得が多いが、今後も情報発信の工夫を重ね、より多くの方に関心を持っていただけるよう努めていきたいと考えている。

有害鳥獣対策

(イノシシ)について

問 年々、イノシシの目撃件数、被害金額が増加していると思われる。頭数を減らすことが効果的であると考えているが、鳥獣被害対策実施隊の育成状況と対策は。

答 令和4年度270頭、5年度520頭、6年度448頭を捕獲しており、被害額も増減を繰り返している。

被害軽減には捕獲と侵入防止柵の両輪が重要であると考えている。実施隊52名が活動しているが高齢化が進んでいるため担い手確保が課題となっている。狩猟免許取得補助や捕獲報償費の支給を行いながら、周知と担い手育成に引き続き取り組んでいきたいと考えている。

企業誘致対策について

問 我が町において企業誘致はとても重要であるが、用地の問題もある。企業誘致状況によつては、今後の工業団地の造成が必要と考える。企業誘致の状況は。

答 企業誘致は3人体制で訪問活動を進め、令和6年度は59社に訪問し、半導体・自動車・医療など幅広い業種と意見交換を重ねてきた。用地不足が課題であり、県の都市計画に基づき4地区の開発を要望しているところである。企業によつては既存物件の賃貸を望む例もあるため、柔軟に対応しつつ、新規分譲と併せて幅広く誘致を進めていきたいと考えている。



鳥獣被害対策実施隊の育成を

令和6年度決算認定 予算は正しく使われたか？

全般的に妥当

代表監査委員

内海 義春
うちみ よしはる



○審査の結果

審査に付された「令和6年度各種会計決算」は、決算計数に誤りなく、歳入確保の努力、歳出の効率性が保持されている。書類も整備されており、会計経理は全般的にみて妥当と認定した。

○決算審査意見

一般会計の歳入状況は町税収入が63億578万円で、前年度と比較

し、1億5189万円上回った。地方交付税では、前年度と比較し、1億4066万円の減額となった。施設更新による財政への影響を踏まえつつ法人町民税が増減を繰り返す状況を見極め、中長期的な視点を持ち、必要となる財源確保を図ることが求められる。歳出状況は、執行率が約93%になっている。令和6年度各種会計決算は、適正に執行されたものと認めた。

一〇メモ

「決算認定」

決算は、町に入つたお金(収入)や使つたお金(支出)の実績。「決算認定」とは議会が一年間の決算内容を確認し、確定すること。

一般質問

議員12人が町長と教育長に質問

一般質問は、議員の日常活動と調査・研究、町民の声や自身の考え方を元に、町長や教育長などの方針を問うものです。

1人60分の制限時間。議会だよりでは、質問と答弁を要約しています。本会議場での傍聴をお待ちしています。

●一般質問はYouTubeで配信しています。



YouTubeの配信
動画はこちらから。

町長 令和6年度からは助成額を拡大したことから、申請者は前年度の1,157人から1,481人へと増加し、申請率も38・3%から47・1%へと向上した。

課題としては、タクシー券とサブローカード（イクスカ）の申請・交付方法が異なり煩雑であること、両者の併用利用ができない

議員 高齢者外出支援事業として、令和6年度からはタクシー券の額面を1万8千円に増額した。利用者が増加した一方で、前年度利用実績のあった対象者への自動的な送付が返送されるケースも見られる。今後の課題や対応について伺う。

こと、制度が複雑で周知不足が懸念されること、また次年度の券が3月下旬に発送されるため4月利用に支障が出る場合があることなどを認識している。タクシー券の送付に際し、不達の場合は郵便局保管後に役場へ返送され、本人へ連絡し手渡す対応をしている。

今後も介護予防や生活支援に資する事業として、利用促進を図っていく。



高齢者外出支援事業について 町長 制度改善で利用促進を進める



質問者の動画が視聴できます

誰もが楽しくお出かけを



その他の質問

- ・森林環境譲与税の活用について
- ・相続土地国庫帰属制度について

特

集

決算特別委員会

一般質問

定例会議

随時会議



質問者の動画が視聴できます

夏場でも安心して

避難できる場所へ！



酷暑の中での避難所運営は万全か

町長 運営改善に努めていく

議員 近年は6月から30度を超える猛暑も珍しくなく、避難時の熱中症が課題となつている。わが町の避難所には冷房がない部屋もあり、停電下での運営が懸念される。

各避難所の収容人数と過去の避難実績、冷房設備の有無と種類、停電時の電源供給計画、さらに今後の冷房設置や電源確保の方針について伺う。

町長 近年の夏は厳しさを増しており、酷暑下での避難所運営にはこれまででない対策が求められている。

しかしながら、すべての避難所において万全の対策を講じることが難しく、個人での水分補給や涼しい服

装、冷却グッズの活用

などを基本とした、各自でできる準備の協力についての周知も必要である。指定避難所は

20か所で収容人数は1万4,650人、東

日本大震災時には最大で1,664人が避難

した。冷房設備は7か所と小中学校の教室に

整備され、体育館にはスポットクーラーを導入中であるが、停電時

に空調まで稼働できる非常用電源は備わっていない。

今後太陽光発電や移動式発電機を活用し、個人での暑さ対策

を呼びかけつつ、運営改善に努めていく。



質問者の動画が視聴できます

お互いへの理解と

ルール作りが大事なね



多文化共生における課題について

町長 多文化共生へ周知と交流を推進

議員 日本の在留外国人数は令和6年末日約376万人と過去最多となり、宮城県でも約3万人が在留している。外国人増加に伴い文化や暮らしへの影響も懸念される中、本町の共生する社会への考えや在留人数の上限設定・マナー学習などの仕組みづくりについて考えを伺う。

町長 本町においては約400人の外国籍住民が登録しており、その半数は技能実習である。国では技能実習制度から育成就業制度への移行が進められており、今後さらに外国人住民が増加する見込みである。

本町では外国人と共生する社会を考える契機として、多文化共生シンポジウムを開催

し、講演やトークセッションに60名が参加した。国の掲げる「安全・安心」「多様性」「人権尊重」の理念を踏まえ、日本語学習ややさしい日本語の普及、交流機会の提供などを進め、偏見なく暮らせる地域づくりを目指している。

在留人数の制限は町独自ではできないが、県や関係機関と連携し、生活マナーや防災対応などを学ぶ場を設け、ごみ分別や交通ルールなどの周知を図り、共に暮らす地域社会の構築に努めていく。



その他の質問

- ・ファミリー・サポート・センター事業の早期導入を
- ・大和町高等学校等通学応援事業の拡充を



あきこ 昭彦
ほんだ 本



質問者の動画が視聴できます

今後も長く愛される場所に！



「ひだまりの丘」改修と機能強化の考えは

町長 改修、再編を検討していく

議員 大和町保健福祉総合センター「ひだまりの丘」は平成11年の開設から25年が経過し、長寿命化計画に基づき改修工事が予定されている。社会福祉協議会などが入居し、検診時は混雑や駐車困難も生じている。災害時の避難所機能も担うことから、安全性・利便性・災害対応力の向上が求められる。

現状の課題把握、福祉拠点としての機能検証、敷地全体を含めた将来像について伺う。

東日本大震災時には約640人を受け入れたことから、防災拠点としても重要である。将来的には高齢化や災害対応に備え、福祉機能の集約と拡充を進め、隣接地の活用や駐車場の拡張も含めた再編を検討している。



町長 保健福祉総合センター「ひだまりの丘」は、町民の健康増進や福祉の拠点として利用されてきたが、築25年を迎え長寿命化計画に基づき改修工事を予定

一口メモ

「長寿命化計画」

建物や整備などを壊れる前に点検・修理し、できるだけ長く安全に使い続ける計画のこと。



ひでき 秀樹
もり 森



質問者の動画が視聴できます

大きな被害が出る前に
先回りした対策を！



ニホンザル対策を

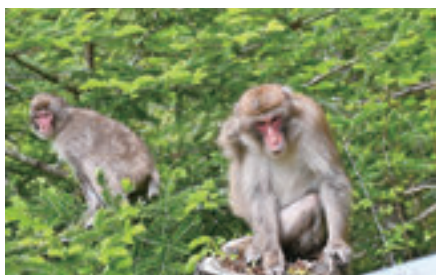
町長 被害を防止へ周知徹底

議員 近年、ニホンザルの目撃が相次ぎ、農作物被害は発生しているが、人的被害は確認されていない。しかし町民からは被害拡大や安全面への不安の声が寄せられており、今後の対応が重要である。

大きな被害が出る前だからこそ、迅速かつ丁寧な情報発信や住民への周知が必要と考える。本町として現状をどう認識し、他自治体の取り組みを調査しているのか。

長へ情報提供し、追い払い用の爆竹やロケット花火を配布して対応している。

現在出沒している高倉山B群という群れは仙台市で大きな被害がなく、捕獲対象ではないが、今後のエサ状況や頭数増加による被害拡大を懸念している。



町長 ニホンザルは群れで生活し、本町では令和2年度頃から宮床ダム周辺で目撃や農作物被害が確認され始め、令和6年度は8件、今年度は7件発生している。目撃時には現地パトロールを行い、区

その他の質問

・楽しく・気軽に取り組める認知症予防と町の情報発信戦略を
・特殊詐欺防止に向けた「#みんとめ」の周知と連携強化を



こだまきん べい
児玉 金兵衛

質問者の動画が視聴できます

みんなで描こうまちづくり



エンドーチェーン跡地利活用、その先は 町長 協働のまちづくりのきっかけに

議員 地域住民の声を
もとに、旧エンドー
チェーン跡地の利活用を
考えるワークシヨップ
がスタートした。
ワークシヨップを設
置した狙いと、これに
期待することは。

町長 当該跡地は、令
和5年度に作成した
「吉岡地区道路整備方
針等」に基づき、令和
6年度に町で取得し
た。整備方針として
は、安全な歩行区間と
通学環境の確保を図
ることとしているが、そ
れ以外の活用方法につ
いて、近隣住民や実際
に通学路として利用す
る児童生徒の保護者な
どの意見を反映する必
要があり、ワークシヨ
ップを設置した。
「みんなで描こう新
たな縁道づくり」と題
するこのワークシヨッ
プが、住民協働のきっ
かけとなることや、参
加者同士に新たな繋が
りが生まれ、一人でも
多くの住民が協働のま
ちづくりに興味を持つ
ことを期待している。
また、ここから生ま
れたアイデアは、ま
ちづくりの参考として
他の施策展開に応用す
ることも可能と考える。
ワークシヨップ方
式による、住民と協働
作業での施策展開は、
まちづくりを進めるう
えで有効な手段であ
り、今後も多くの事業
で実践していきたいと
考えている。



その他の質問

- ・高齢者の外出支援はプッシュ型で
吉岡コミセンの文教地区にあるべき
利活用策は



みやざわ みつやす
宮澤 光安

質問者の動画が視聴できます

必要な整備をしっかりと！



大和町消防団について 町長 状況に応じた対応をしていく

議員 消防団は地域の
防災・減災に欠かせな
い存在だ。団員数は
年々減少している。火
災や自然災害が多発す
る中、その必要性は高
まっており、早急な対
策が求められる。

町長 大和町消防団は
発足70年を迎え、時代
に応じて体制を見直し
運営してきた。当初
683名であった団員
は現在465名、充足
率82・3%と減少傾向
にあるが県平均並みで
ある。
背景には少子高齢

化、都市部での帰属意
識の低下、地方での若
者の人口流出、さらに
仕事との両立困難や操
法大会の競技性に対す
る意見などが挙げられ
る。

団員募集のため、夏
祭りでの広報活動に努
めている。全国的な課
題で関係機関との連携
と対策が必要である。
また、消防団活動は
昼夜を問わない活動
や、時には過酷な状況
下での活動もあるた
め、熱中症対策など状
況に応じた対応を行
い、団員の理解と協力
を得ながら活動してい
ただけるよう周知を図
っていきいたいと考えて
いる。



その他の質問

- ・町道や河川、農地の環境整備について



町長 地域交流と見守りで孤立防止

安心して暮らせる地域づくりのため、見守り活動の充実、交流機会の拡大、生活支援体制の整備などについて町の考えを伺う。

課題は地域コミュニティの希薄化による地域力低下であり、地域力を支える人材育成が重要と考えている。孤独・孤立防止には定期的な声掛けや地域活動、活き生きサロン、ボランティア活動など社会活動への参加が重要であると考ええる。

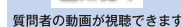
町長 本町の高齢化率は令和5年度末で24%だが、地区によっては40%を超え、今後増加が見込まれる。

町では民生委員関連事業や認知症サポーター

政区内交流促進支援事業」を活用し、福祉機関・産官学が連携して横断的に取り組み、町民がしあわせがめぐる町を実感できるまちづくりを進めていく。



・町道桧和田排水機場線の早期道路整備を



町長の県通報アプリを活用

例会で提案した、LINEなどSNSを活用した道路や公園の不具合通報の仕組みについて伺う。

その後、導入に向けた検討や情報収集を行ったのか。また現時点での方向性や導入にあ

たり課題として認識している点は何か。町民参加型の仕組みとして行政の迅速な対応に資すると考えるが、町の見解を伺う。

町長 県内自治体の状

況を調査した結果、7市町がLINEなどの通報サービスを導入し、道路・公園・防犯灯・不法投棄など幅広い分野で運用していることを確認した。

また、国土交通省に

から全国を対象にLINEによる道路通報運用が開始され、宮城県においてもデジタル身分証アプリ「ポケット

サイン」内の「インフラ異常箇所通報アプリ」が令和5年11月より運用されている。

町では有効性を確認しており、まずは県の通報アプリを活用する方針を定め、8月末に町ホームページ上に掲載し、情報収集と活用

を進めている。

今後は利用状況を分析し、さらなる改善や導入の可能性を検討していく。



- 救急医療について

・「こころの体温計」の導入を



質問者の動画が視聴できます

子どもたちが安心して
学べるよう体制強化を



学校の危機管理について

教育長 地域と協働し体制強化

議員 学校を取り巻く環境は不審者対応や自然災害、さらには野生動物の出没など多様なリスクに直面しており、危機管理体制の強化が求められる。

過去の事件を踏まえた簡易バリケード設置の効果はどう考えるか。

加えて、門扉や防犯カメラの設置による侵入抑止・記録の有効性への見解、さらにコロナ禍以降希薄化した地域との連携を再構築し、危機管理を高める必要性について伺う。

教育長 学校保健安全法に基づき、本町の小中学校では危機管理マニュアルを策定し、不審者対応や災害対応訓練を年間3〜6回実施している。

校門付近に設置した

簡易バリケードは固定式車止めには劣るが、警察の見解では抑止効果が一定の有効性が認められている。

門扉の設置は不審車両の防止に有効だが、日常的な開閉作業やフェンス整備を含め現実的に課題が多く、施設改修時にPTAや地域の意見を踏まえ検討していく。防犯カメラは昇降口中心に設置済みであり、校門付近への拡充も検討していく。

コロナ禍が明けて、改めて「地域に開かれた学校」を取り戻すべく、学校と地域が協働して児童生徒の安全を守る体制を強化していく。



その他の質問

・公共施設の老朽化対策について



質問者の動画が視聴できます

任期終了後も大和町で
活躍してもらえるよう支援！



地域おこし協力隊の今後の活用とビジョンについて

町長 定着支援と起業後押し

議員 本町では今年初めて地域おこし協力隊を採用した。

協力隊は外部人材を受け入れ、地域課題解決や新たな産業・交流創出につながる貴重な仕組みであり、今後の活用ビジョンを明確にすることが重要である。

活動分野も地場産業従事、特産品開発など地域資源を活かした取り組みへの参画を検討すべきである。

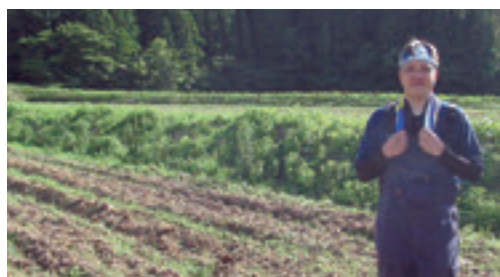
今後の人数拡大や観光・産業分野への配置、さらに任期後の定着支援について伺う。

多面的活動をしていく予定である。

現段階では活動定着を優先しており、人数拡大は今後の分析を踏まえて検討していく。

協力隊は観光や情報発信、農林水産業など幅広い分野での活用が可能で、地域ニーズに応じて導入を検討する。

任期終了後は国の交付税措置を活用し、起業支援や空き家改修支援を行う。また、地域とのつながりを深め、生業として定着できるよう町や関係団体が伴走型で支援していく考えである。



その他の質問

・広報たいわと公式LINEアカウントの連携強化について
・国際認証取得を目指した観光ビジョンと推進体制について

特集

決算特別委員会

一般質問

定例会議

随時会議



わたなべ よしお
渡辺 良雄



質問者の動画が視聴できます

地域と共生した
カーボンニュートラルの実現を



メガソーラー制限条例が必要ではないか 町長 国や県の動向を研究していく

議員 仙台市秋保町で国内最大級とされるメガソーラー計画に対し、住民から反対署名が提出されるなど、全国的にも規制条例制定の動きが広がっている。

森林伐採や土壌流出、生態系・景観への影響、防災面でのリスクや住民トラブルが懸念される中、森林面積が7割を占める本町も、住民の意思を聞き、独自の制限条例制定を検討すべきではないか考えを伺う。

施設拡大により、土砂災害リスクや景観破壊などのトラブルが課題となっている。

国や県が法改正や条例制定、再生可能エネルギー地域共生促進税導入を行ったことにより、大規模開発を抑制につながっていると考えられ、関連法や県条例を補完する形で研究を進め、地域と共生した再生可能エネルギー導入を推進し、国・県と歩調を合わせ、カーボンニュートラル実現を目指していく。



その他の質問

・避難施設整備を考える

議会豆知識 「再質問」とは

再質問って？

議会では、議員が町の考えや取組を確かめるため「一般質問」を行います。

それに対して、町長や教育長などが「答弁(回答)」をしますが、その内容を聞いたうえで「もう少し詳しく知りたい」「別の角度から聞きたい」と思うこともあります。

そんなときに行うのが「再質問」。つまり、答弁を受けてもう一度質問することです。

必要があれば更に再質問も！

更に必要があれば更に追加で「再質問」をすることもできます。再質問を通して、議員と町がやりとりを重ねることで、議論が深まり、町の課題がより明らかにになります。

より良いまちづくりにつながる大切なやりとりです。

なお、たいわ町議会だよりでは、スペースの都合上、「再質問」は掲載しておりません。「再質問」の様子は議場での傍聴、またはYouTubeでご確認いただくことが可能です。議員と町の真剣な議論の様子をぜひともご覧ください。

YouTubeは
こちらから



Aについて、今後の対応は
どうする予定ですか？(質問)



来年から着手する予定です
(答弁)

それでは着手後、●●の実施は
考えていますか？(再質問)

一目でわかる審議結果

議案番号等	議案	賛成	反対	議決結果	本 田 昭 彦	佐 野 瑠 津	宮 澤 光 安	平 渡 亮	櫻 井 勝	森 秀 樹	佐 々 木 久 夫	犬 飼 克 子	馬 場 良 勝	今 野 信 一	渡 辺 良 雄	梶 田 雅 之	堀 籠 日 出 子	大 須 賀 啓	児 玉 金 兵 衛	今 野 善 行	提案者
7月随時会議(7月9日)																					
報告第17号	専決処分の報告について(令和7年度大和町一般会計補正予算)	—	—	報告	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	町 長
報告第18号	専決処分の報告について(損害賠償の額を定め、和解することについて)	—	—	報告	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
議案第60号	令和7年度大和町一般会計補正予算	15	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第61号	令和7年度大和町吉田財産区特別会計補正予算	15	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第62号	令和7年度道路改良工事(町道吉岡東1号線)請負契約について	15	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第1号	大和町議会史編集に関する調査特別委員会の設置について	15	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
9月定例会議(9月1日～16日)																					
議案第63号	大和町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例	15	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	町 長
議案第64号	大和町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	15	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第65号	大和町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	15	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第66号	大和町生活改善施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	15	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第67号	大和町子育て支援住宅設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	15	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第68～74号	各種会計補正予算(7件)	15	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第75号	令和7年度大和町立吉岡小学校外構工事請負契約について	15	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第76号	町有財産の処分について	15	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
認定第1号	令和6年度大和町一般会計歳入歳出決算の認定について	15	0	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
認定第2号	令和6年度大和町国民健康保険事業勘定特別会計歳入歳出決算の認定について	15	0	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
認定第3号	令和6年度大和町介護保険事業勘定特別会計歳入歳出決算の認定について	15	0	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
認定第4号	令和6年度大和町宮床財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	15	0	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
認定第5号	令和6年度大和町吉田財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	15	0	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
認定第6号	令和6年度大和町落合財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	15	0	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
認定第7号	令和6年度大和町奨学事業特別会計歳入歳出決算の認定について	15	0	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
認定第8号	令和6年度大和町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	15	0	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
認定第9号	令和6年度大和町吉岡西部土地地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定について	15	0	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
認定第10号	令和6年度大和町下水道事業会計歳入歳出決算の認定について	15	0	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
認定第11号	令和6年度大和町水道事業会計歳入歳出決算の認定について	15	0	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
報告第19号	令和6年度大和町健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	15	0	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	令和6年度大和町歳入歳出決算審査の報告について	15	0	報告	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	令和6年度財政健全化審査及び経営健全化審査の報告について	15	0	報告	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	決算特別委員会の設置について	15	0	決定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
諮問第2号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	15	0	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
同意第2号	教育委員会委員の任命について	14	1	同意	無記名投票																
議案第77号	令和7年度大和町一般会計補正予算	15	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第78号	令和7年度大和町水道事業会計補正予算	15	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

※ 議長(今野善行)は、賛否が同数でないかぎり採決に加わりません。



~TAIWA VOICE~



大和町敬老会で聞いた皆さんの声

Q. 健康の秘訣は？



足の筋肉を鍛えるため、
自転車に乗ること。

鶴巣地区大崎
高橋 チヨセさん



週4日のプールに
通い人と話すこと。

宮床地区杜の丘
鈴木 芳雄さん



早寝早起き。
毎日楽しく過ごすこと。

落合地区三ヶ内
大和田 清一さん



活き生きサロンに
毎回参加すること。

吉田地区峯
阿部 東代治さん



みんなと仲良く
過ごすこと。

吉岡地区城内中
佐々木 末治さん

議会を傍聴してみませんか？

受け付けは役場3階議会事務局にて行います。ぜひお越しください。また、議会インターネット中継も行っております。

QRコードから配信をご覧いただけます。



次回定例会議は

期間	12月1日(月)から 12月5日(金)まで
一般質問	12月1日(月)から 12月3日(水)まで

の予定です。

大和町議会事務局
TEL:022-345-7506
メール:gikai@town.taiwa.miyagi.jp

議会広報常任委員会

編集発行責任者

議長 今野 善行

編集委員

委員長 犬飼 克子
副委員長 児玉金兵衛
委員 本田 昭彦
委員 佐野 瑠津
委員 平渡 亮
委員 森 秀樹

吉田小6年生の活躍

10月4日に開催された「全国緑の少年団活動発表大会」で、宮城県代表として活動発表を、同じく5日に開催された「全国育樹祭」式典行事にて、秋篠宮殿下の先導役や団旗入場を吉田小学校の6年生児童が務めました。

事前に行ったインタビューで、活動発表を行った清田奈々絵さんは「本番は緊張すると思うけど、吉田ではこういうことをしていると知ってもらえると嬉しいです。自然が心から好きだということを、みんなに伝えられたら良いです！」と話しており、先導役を務めた堀籠朝花さんも、「国の行事でなかなかないことなので、精一杯頑張ります！」と答えてくれました。

当日はその言葉どおり、堂々とした姿を見せ、多くの来場者から盛大な拍手が送られました。



編集後記

今号も最後までご覧いただき、ありがとうございました。表紙の吉田小学校では、元気がいっぱいの子どもたちが取材に協力してくれました。カメラを向けると照れながらもピースサインをする子や、大和町の魅力を話してくれる子もいて、こちらまで笑顔になりました。さらに裏表紙の敬老会では、元気に集ってくる高齢者の皆さんのパワースタンス。歌や踊りに会場が大盛り上がりで、大和町の底力を感じるひと時でした。

子どもからお年寄りまで、町の「元気エネルギー」をギュッと詰め込んだ今号。次号もワクワクして頂けるような広報をお届けしますのでお楽しみに！

編集委員長 犬飼 克子

※議会だよりに掲載している写真は、本人、保護者等の許可を得て撮影・掲載しております。



この印刷物にはVOC
(揮発性有機化合物)成分ゼロの
環境にやさしい100%植物油型
インキを使用しました。